

かわらばん

一般社団法人 岩手県産業資源循環協会
TEL019-625-2201 FAX019-624-1920
URL : <http://www.iwatesanpai.or.jp>



第8回定時総会について

本年度の定時総会については、新型コロナウイルス感染症防止のため、「書面による議決権行使」をお願いします。正会員におかれましては、別添「第8回定時総会の開催について（通知）」の下欄「議決権行使書」に必要事項を記入して、FAX又は郵送により5月21日（木）までに返信してください。

なお、法令上の開催日は5月22日（金）ですが、便宜的なものなので御出席はお控えください。表彰、会員交流、来賓臨席なども全て中止です。



許可申請等の郵送受付について

岩手県環境生活部資源循環推進課及び盛岡市廃棄物対策課から、当分の間、各種手続きを下記により実施する旨の連絡がありましたのでお知らせします。

- 許可申請、届出、報告等の提出は、原則として郵送によること。
- 提出物に形式上の不備が認められた場合には、連絡のうえ、補正完了後に正式な受理とすること。
- 申請用紙等の送付が必要な方は、切手を貼付した返送用封筒を同封して請求すること。



三密(密閉、密集、密接)は、どれか一つでも危険です！

Q&A 新型コロナ感染症対応

国の通知等で示された Q&A を紹介します。詳細は、本会HP「新着情報」から確認できます。

Q1 新型コロナウイルス感染症の軽症者等が宿泊療養する施設において、廃棄物はどのように処理すればよいですか。

A1 ホテル等を宿泊療養に使用する場合の留意事項は、次のとおりです。なお、5月7日現在、県内に該当事例はありません。

- 医師等が医業等を行う場所ではないことから、廃棄物理法の感染性廃棄物が排出される施設には該当せず、感染性廃棄物としての法的な制約はなく、手続き上は通常の廃棄物となること。
- しかしながら、施設内や廃棄物処理業者の従業員への感染防止を徹底する必要があるため、「廃棄物処理における新型インフルエンザ対策ガイドライン」に掲げられた感染防止策が推奨されること。
- 特に、ごみに直接触れないこと、ごみ袋は一杯になる前にしっかり縛って封をして排出すること、ごみを捨てた後は石けん等を使って手を洗うことなどに注意すること。
- 袋の外面にごみが触れた場合、袋を縛った際の隙間や破れがある場合は、密閉性を高めるため、二重にごみ袋に入れるなどの対策を講じること。



Q2 産業廃棄物処理業者は、緊急事態にどう対応すべきですか。業務を継続しなければなりませんか。

A2 政府策本部の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」において、次のとおり国民生活と産業経済に不可欠な分野と定められています。

○ 感染拡大を防止するため、産業廃棄物等の適正かつ安定的な処理の継続が求められていること。

○ そのため、新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物を始め、その他の廃棄物についても、「廃棄物処理における新型インフルエンザ対策ガイドライン」にしたがって十分な感染対策を講じながら、業務を実施すること。

Q3 産業廃棄物処理業者は、業務を継続するため、どのような準備が必要ですか。

A3 排出事業者や関係業者とも十分に調整して、次のような事前の対策を講じることが効果的です。

○ 社内については、従業員の感染防止策を徹底すること、業務に必要な資材を確保すること。

○ 社外については、新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が発生し部署単位で休止になった場合、人員や資材が不足した場合を想定して、優先順位を考慮した段階的な業務縮小計画を検討すること。

Q4 産業廃棄物処理業者は、業務能力が低下した場合、どう対応すればいいですか。

A4 受託者として、法令に定められた次の責任を遂行する必要があります。

○ 再委託する際の確認事項、再委託先、再委託料金等について、排出事業者との調整を含めて検討しておくこと。

○ 契約を結び直すことが適当な場合には、排出事業者にその旨を速やかに通知すること。

Q5 産業廃棄物処理業者は、受託量の減少などにより資金繰りや事業の継続に影響が見込まれる場合、どのような支援策が受けられますか。

A5 新型コロナウイルス感染症により影響を受けている中小企業者を対象として、次のような緊急経済対策が発動されています。

○ 資金繰り支援については、し尿収集運搬業、し尿処分業、浄化槽清掃業、浄化槽保守点検業、ごみ収集運搬業、ごみ処分業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業及び特別管理産業廃棄物処分業は、セーフティネット5号の対象であること。

○ 雇用維持や事業の継続についても、さまざまな支援が拡充されていること。

○ いずれの制度についても、手続きのワンストップ化が推進されているので、早めに最寄りの金融機関や信用保証協会等に相談すること。



経営のヒント

賛助会員のコベルコ建機(株)様の広報誌・春季号(別添p.14)では、(株)岩手環境保全(代表取締役 新沼学/本会副会長)が紹介されています。最終処分場における事故ゼロの実現、専用転圧機の導入による適正管理の徹底など、地域の信頼を得る具体的な取組を拝見できます。



事務局便り

【5~6月行事予定】

- ・ 格付け審査は、例年のとおりGW後に順次実施します。その他の多数が参集する行事は、中止です。
- ・ 全国に合わせて本県もクールビズが始まりました(5月~10月)。少し早いような気もしますが、よろしくお祈いします。

◆編集後記◆

新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延しており、さまざまな事業が中止・延期となっていますが、力を合わせて乗り切りましょう。皆様にタイムリーな情報を提供できるように頑張ります。